

カテゴリⅡ 正誤表（第1版）

頁	誤記箇所	誤	正
x	表3 7.オイルサンプリング カテゴリⅠの訓練時間	3	2.5
x	表3 8.潤滑剤の健全性（性状）監視 カテゴリⅠの訓練時間	3	2.5
xiii	表中 7.オイルサンプリング カテゴリⅠの訓練時間	3	2.5
xiii	表中 8.潤滑剤の健全性（性状）監視 カテゴリⅠの訓練時間	3	2.5
3	下11行 ④機能故障解析(Functional failure analysis)	(Functional failure analysis)	(FFA:Functional Failure Analysis)
37	図2.23 横軸 ゾンマーフェルト数 $S=(\eta n/p)(D/c)^2$ のnは大文字Nに	$S=(\eta n/p)(D/c)^2$	$S=(\eta N/p)(D/c)^2$
44	下1行 式(2.14)中の速度パラメータ	(2.14)	(2.17)
66	表6.4 粒径, ISO11171 >の位置に間違い	$4>\mu m(c)$	$>4\mu m(c)$
70	下6～7行目	一般的に潤滑油製品への水分の溶解性は低い、温度条件、潤滑油製品の添加剤の種類および量によって飽和水分量は異なる。	潤滑油への飽和水分量は、温度条件、潤滑油製品の添加剤の種類および量によって異なる。
79	2行 39b-35c-6b (60)	39b-35c-6b (60)	39-35-6(60) b-c-b-a-b
79	9行 外観から判断する。(以降追記)さらに、それぞれの境界層は・・・		さらに、それぞれの境界層はa(完全な境界面)、b(泡状の不明確な境界面)、c(網目状の不明確な境界面)の評価を行う。例えば、油層がもや状、水層がもや状、乳化層が曇り、油と乳化層との境界面が網目状の不明確な境界面で、水と乳化層との境界面が泡状の不明確な境界面の場合は b-c-c-b-bの様式で付記する。
85	下6行 ミクロ法では500℃のコーキング炉をで 窒素雰囲気下で	をで	で(“を”の削除)
92	図6.49 ◆空気含有率6%	6%	13%
92	図6.49 △空気含有率13%	13%	6%
116	6行 図7.17	図7.17	図7.18
116	8行 十分に流しされないし	流しされない	流しきれない
116	9行 図7.18	図7.18	図7.19
121	下16行 図7.24	図7.24	図7.25
131	下9行 ROOH+RR・	ROOH+RR・	ROOH+R・
143	下1行 特徴的なヒークの位置が種類に	ヒーク	ピーク
185	8行 AISI52100(SUJ 2)は、300℃で青色に変色し	300℃で	330℃で